

# 田園調布雙葉小学校

【理事長】磯部 力  
【校長】南部 浩士

〒158-8511 東京都世田谷区玉川田園調布 1-20-9 TEL 03-3721-3994 <http://www.denenchofufutaba.ed.jp/elementary/index.html>  
【交通】東急大井町線九品仏駅・東急東横線・目黒線田園調布駅

恵まれた自然の中で かかわりを通して  
時間をかけて 人間を育てる

## 教育方針

○感じる心 信じる心 祈る心を持ち、○進んで学び 努力を続け、○健康なからだを作り、○周囲に目を開き、よりよい世界を作るために働きたいと願う子どもに、成長していきますように……

## 一貫教育ならではの豊かな教育

高校まで同じ教育方針・同じ校訓のもとに育てられ、小学校では特に、学級担任と専科担当者とのチームワークのもとに、子どもたちの基礎学力の充実、創造性・自発性の啓発、豊かな感性とすこやかな心身の育成をはかっています。友だちとの深いかかわりも、一貫教育の中では大切な要素です。

## 特色ある田園調布雙葉の授業

**宗教教育**●授業は週1時間、キリスト教の教えを通して生きる意味に目覚め、日々の祈り、聖歌、クリスマス・ミサ、イースターの集いに加え、小さな奉仕を通して社会に目を向け、愛の実践を体験します。

**英語教育**●授業は全学年週2時間、子どもの特性である鋭い聴覚、記憶力、模倣能力を生かして、音声を中心とした指導を行っています。

**図書館の時間**●週1時間、読書を通してたくさんの人に出会えます。コンピュータによる検索、調べ学習の仕方もここで学びます。

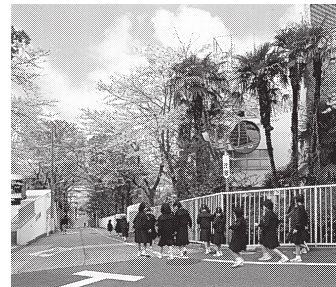
**ふたばタイム(朝の活動・総合的な学習の時間)**●子どもの成長段階に応じたアプローチで、また子どもの自主性を生かしながら、学園の教育理念を具体的に身につけていきます。

**ステップ・アップ・タイム**●週4回10分ずつ、反復練習によって国語・算数の基礎を固め、同時に集中力を育てます。

**マーガレット活動**●毎週1回の全校たてわり活動で、異年齢の友だちと作業をしたり遊んだりします。

## 上級学校に進むには

田園調布雙葉中学校へは、原則として6年間の教育課程を修了すれば進学できます。



## 沿革

昭和16年、財団法人私立新栄女子学院経営による雙葉第二初等学校認可。同31年、学校法人雙葉学園より分離し、学校法人雙葉第二学園新設。同39年、法人名及び学校名を現在のものに変更。平成23年、創立70周年を迎えた。

## 2016年度募集要項

募集人員：女子約65人  
出願期間：10月1日(木)・2日(金)(午前9時より正午まで/窓口)  
審査料：25,000円  
面接日：10月14日(水)・15日(木)・16日(金)・17日(土)のうち1日  
審査日：11月1日(日)  
選考内容：知能、行動  
合格発表：11月3日(火・祝)  
【かかる費用(2015年度参考)】  
入学金：250,000円  
授業料：468,000円  
初年度納入金総計：1,049,000円

## 併設中学進学状況

◆田園調布雙葉中学校(女子117人)  
※原則として希望者全員が進学可能

## データパック

◆児童数730人/教員数47人  
◆15年度応募者数：女子271人  
◆合格者数：女子70人

## 【併設校】

○田園調布雙葉小学校付属幼稚園  
○田園調布雙葉中学校・高等学校

## 幼きイエス会

1662年、北フランスのルアン市郊外に小さな学校ができました。それは、ニコラ・バレ神父と、数人の若い女性たちが幼い子供たちのキリスト教的教育を願って始められたものです。数年のうちに学校はルアン市内にもでき、神父はここで働く女性たちに呼びかけて、教育に専念する修道会を創立し、パリのサン・モール街に本部をおきました。日本には1872年、フランス人メーメル・マチルド・ラクログが4人の修道女を伴って来日、横浜の山手に事業を開始し、3年後には東京にも進出しました。今日、本学園のほかに、東京四谷、横浜、静岡、福岡の雙葉学園、横浜のインターナショナル・スクールがあります。